

## Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1993~1994年度クラブ目標 “出会いを大切にしよう……例会で、みんなが、待っている”

## 第169回 例会報告 (4/13)

司会者 SAA 須藤 起雄

◇点鐘 会長 横倉 舜三

◇ロータリーソング「日も風も星も」

ソングリーダー 吉沢 洋景

◇お客様紹介 会長 横倉 舜三

添田 邦治様 (東京稲城RC)

## ◆ 会務報告 会長 横倉 舜三

先週報告いたしました、多摩中央警察の交通少年団鼓笛隊発足に伴う協賛については、担当委員会を青少年奉仕委員会といたします。中山交通安全協会会長と打合せながら橋本委員長よろしくお願いたします。

## ◆ 幹事報告 幹事 北村 幸彦

## 1) 例会臨時変更のお知らせ

東京飛火野ロータリークラブ

4月26日(火) → 会場変更

ホテルニューグランド八王子

点鐘 12:30

## 2) 記念式典について

多摩ロータリークラブ25周年記念式典の出欠をとりたく回覧致しますので記入してください。登録料は15,000円ですが例会を振り替えますので個人負担は13,000円、会負担2,000円とします。

## 3) 副田景子一時帰国

副田景子さんが一時帰国されました。後ほど近況報告などしていただきたいと思います。

## 4) 国立白うめチャーターナイト

国立白うめロータリークラブのチャーターナイトが本日午後3時より行われ当クラブより7名出席

していただくことになっておりますが駐車場のスペースがあまり無いとのことですのでなるべく2台ぐらいに乗り合わせていってください。

吉祥院のしだれ桜がいま満開だそうです。佐伯会員の撮った写真を回しますので見てください。

## ◆ 次年度会務報告

会長エレクト 宮本 誠

去る4月5日京王プラザホテル新宿で、会長エレクトのセミナーがあり出席したので報告します。

- 1) 来年度RI会長ビル・ハントレーのメッセージ、“BE A FRIEND”「友達になろう」が発表された。日本語で「友達になろう」は、大変口当たりが良いが、RI会長の英語の意味にはかなり積極的深い意味が込められております。これは来年度我クラブが地域発展委員会を新設し、地域を支えて行こうという一つの大きな方針を持つこととしていることとびつたり一致するものです。そこから辺の詳しいことについては改めて説明したいと思います。
- 2) 同時に“BE A FRIEND”のテーマソングが発表されました。矢野ガバナーノミニーは、この歌を折りにふれ唄いマスターすることを要請され、ガバナー訪問の時にはこの歌で迎えて欲しいとの強い要望です。別紙譜面と歌詞をお配りしました。テープもありますのでしっかりと練習をしたいと考えます。
- 3) メッセージとは別に、来年度の活動の目標について、RI会長のかかなり具体的で強い要請がなされており、それに基づいてガバナーノミニーからも細かな指針が示されました。このため、我クラブに於いても各委員会より出されている活動計画について再度検討の必要があると考えます。そろそろ最終の固めと考えていましたが、各委員会との調整のため次年度会長・幹事に今少し時間をいただきたいと思ひます。

# 委員会報告

## ◆出席委員会

委員 猪股 末男

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本 日 報 告	53	43	0	8	84.31%
前 回 訂 正	53	48	2	1	96.15%

メイクアップ なし

## 欠席届出者

大松 誠二、城倉 正博、高村 弘、高野 範城  
津守 弘範、若林 滋和、横倉 謙

欠席者 なし

## ◆親睦委員会

委員長 吉尾 警太郎

花見例会懇親会多数のご参加有難うございました。決算書は次回の例会でご報告出来ると思えます。昼に行われました松原さんとゴルフにおきまして、松原さんとスクラッチで全員握ろうということで、合計金額16,000円でございます。北村さんをお願いをしまして東京国際に關係する何か記念の品物を揃えて頂きお贈りしたいと思えます。

視覚障害者のゴルフの件で報告させていただきます。花見例会の前日4月5日多摩福祉協議会のチャリティーゴルフコンペがございまして、当日いつも練習をしております清水さん・太田さんと女性の浅田さんこの三人が3ホールをゴルフまわりました。大変になかなかの出来でして、特に清水さんが9番ホールあわやスリーオン・パターにダブルボキーということで9番を、私は翌日あそこで7回たたまましたけれども清水さんが6回で上っております。

視覚障害者のゴルフの練習でございますけれども、第三水曜日来週の水曜日はチャリティーコンサートと重なっております。前日火曜日の19日に視覚障害者とのゴルフの交流会を開きたいと思えますので、どうぞ4~5人の方は是非お手伝いを頂きたいと思えます。火曜日の7時半でございます。

★★★★★★★★★★

ニコニコ BOX

委員 平野 行廣

★★★★★★★★★★

添田 邦治様 しばらくぶりでお邪魔します。

足立潤三郎 花見例会にゴルフ部の皆さんからホールインワン記念として、素晴らしい記念品を頂きました。ありがとう

中山 恒武 花見例会ご苦労さまでした。

藤本 吉文 杉田様、此の度は大変お世話になりました。

鶴海英三郎 結婚記念日の贈物有難うございました。結婚以来初めてです。

伊神 稔 お花見よかったですね

吉尾警太郎 花見、多数の参加ありがとうございます。

田中 實 添田さんようこそ

北村 幸彦 添田さんと福田さんご苦労様です。

横倉 舜三 花見例会を無事終了して親睦委員、SAAの皆さんご苦労様でした。北村幹事会場ありがとうございます。

平野 行廣 花見例会ご苦労様でした。

橋口 洋三 創立総会のチューリップが咲いたので

遠藤 二郎 添田様ようこそ

合計 36,000円

## ◆ロータリー豆知識

ロータリー情報委員長 吉尾 警太郎

ずっとこのところ職業分類が続いてまして、今日は職業分類のパート5です。ロータリークラブにとりまして一番基本になる事でありまして、非常にしつこいようですが職業分類に関する知識を十分持って頂く必要があると思えて、これに集中してこのところ出しております。今日は職業分類の貸与と職業分類の調査ということです。職業分類というものはそれぞれの方が60%以上従事しておられる仕事を主に分類が一応決められまして、その分類というものはクラブからその会員に貸与されているというふうにご理解を頂きたい訳です。あと細かいところは読んで頂きたい。職業分類の調査というのは、毎年8月にその地域における職業の実態を調査して、分類について修正するところは修正するという事をやはりやって頂き、それで充填未充填の職業分類を作成するのが職業分類委員会のまず8月の仕事になるわけです。今から次年度の職業分類委員会になるのですが、8月にはこういう作業が待ち受けているとご理解頂きたいと思えます。

この前もお話した地区のGS委員会、研究グループ交換委員会ですが、実は私は受入れの方を担当することになりました。派遣は他の方ですが、受入れは4名位の担当になります。来年の3~4月にかけて研究グループをアメリカのボストンから受け入れることになりまして、これは地区の6分区が持ち回りでお世話をすることになるかと思えます。当クラブの場合は多分第3番目、一分区が大体3~4日間お世話するような形になります。基本的なこういう事をやって頂きたいという事は、また改めて決めまして各分区を通じてクラブの方にご連絡するかと思えます。一応原則はホームステイということなんです。又、色々ご協力頂くような事になるかと思えますが、細かいことは決まり次第追ってご連絡するように致します。

以上お話をしましたのは、警視庁つまり東京の犯罪情報のおおまかなところでありますが、次に昨今の警察事情ということで若干お話をしてみたいと思います。

導入として、多摩中央警察署管内の犯罪情勢について数字をあげてご紹介をいたします。

はじめに全刑法犯の発生状況ですが、昨年1年間で約3,500件、当署の開設が昭和63年2月ですが、この年は、約2,200件ですから、約1,300件、約60ポイントの増加となっております。一方検挙件数は昨年が約936件、開署時が680件ですから、プラスの256件、検挙率は30.9%から26.7%と4ポイント以上下がっております。

これらの状況を本年と昨年の比較で見えますと、発生が467件で66ポイントの増加、検挙が148件で逆に39件、27ポイントの減少、検挙率は31.6%でマイナスの3.4ポイントとなっております。

このように数字面を見ますと、発生は増え続けており、検挙は増えているものの発生に追いつかず、その結果として検挙率が落ち込むという好ましくない状況にあるわけであり、このような傾向は当署に限らず警視庁はもとより全国的なものでありまして、マスコミの論評を借りるならば、「日本の治安に陰りが見える。」ということでもあります。

日本が世界に誇れるものは、たくさんありますが、中でも無条件に称賛されていますのは、治安の良さであります。そして、この治安の良さは、交番、駐在所にみられるような警察システムに加え、国民性、風土によるところが大きかったのであります。言ってみれば、「向こう三軒両隣」的な地域のたたずまいや、そこに住む人たちの家庭内でのしつけといった伝統的、道徳的な順法思考傾向といったものが相乗効果となって、犯罪を抑止してきたと言われております。しかし、そうした社会習慣は、段々変わってまいりまして、今や、だれがどんな犯罪に走ってもおかしくない土壌が作り出されつつあるような風潮があります。「してはいけない。人に迷惑をかけてはいけない。」といった戒律意識が失われ、社会の模範がじわじわと壊れ始めている感があるわけでもあります。

東京とニューヨークの主要犯罪の人口10万

当たりの発生率についての比較を見ますと、ニューヨークでは、殺人が日本の26倍、強盗は415倍、強姦は24倍となっており、ロサンゼルス、シカゴについてもほぼ同様の状況であります。アメリカのある雑誌の世論調査によりますと、今アメリカが抱える最大の問題は、「経済」でも「失業」でも「外交」でもなく「犯罪」だとする回答が29%でトップだったそうであります。米議会では、短銃規制法(ブレティ法)がやっと成立し、総額220億ドル(約2兆3,000億円)をかけて全米で警察官を10万人増やす犯罪防止法に取り組んでいますが、「時既に遅く」その効果については疑問視する向きがあるようであります。

この3月中旬に中国で全人代(中国全国人民代表大会)が開催されましたが、席上「犯罪の巨額化、凶暴化、黒社会化(組織化)」傾向による治安の悪化が報告され「黒社会退治」を重点目標にしております。

昨年1年間、中国全土の刑事事件の裁判件数は40万件余りで、一審で有罪判決を受けた45万人のうち死刑判決が約4%増加しているそうであります。この死刑判決をうけた者の中には、「中国版豊田商事事件」といわれた約3,900万円の詐欺事件の犯人も含まれております。

死刑判決を受けた被告の家族から、わいろ1万元(約10万円)をもらい、執行猶予付きの死刑に減刑して逮捕された裁判官もいるようであります。

イギリスでは、犯罪の絶対数の増加に加え、11歳の少年が2歳の幼児を惨殺するなど犯罪の低年齢化や凶悪化が深刻な問題となっております。ハード内相は、つい先ごろ、300年もの歴史がある黙秘権の大幅制限や、少年の犯罪の刑罰強化策を盛り込んだ刑法、公共秩序に関する法律の改正等を発表いたしました。

日本では、14歳未満の少年は刑事未成年として刑罰を科せられることはありませんが、イギリスでは、殺人に限って10歳を超えれば逮捕、拘束されるわけですが、婦女暴行や強盗等の犯罪についてもその対象にしようというものであります。

アメリカでもある州では、いわゆる「三振アウト法」が成立し、既に適用例があるそう

であります。これは、過去2回犯罪を犯した者が、3回目の犯罪を犯したときは、裁判に付することなく、自動的に有罪とし、刑を科するというものであります。

こうした情勢についてニューズウィーク誌の最新号は、「世界は犯罪天国」と報道し、日本の治安の良さは、「異常な例外」といっているのであります。

大変大雑把な数字を申し上げますと、10年前の警視庁管内の犯罪の発生件数は約22万件でありました。昨年は、25万件と約13%増加しております。しかしながら、この間警察官の増員は、まったく認められておりません。

当署について言えば、犯罪は2,200件増えましたが、警察官は15人しか増えておりません。

一方この間多摩中央署もそうでありまして、4つの署が新設されております。近々に八王子署が分割され、新しい警察署が新設されることとなっておりますが、増員はありません。つまり、地域の密度は段々に薄くなっていくわけでありまして。

更には客観的な治安の悪化を促進する諸条件に加えて時代の流れで警察にも週休2日制が導入され、労働時間の大幅な短縮が図られるなど労働条件が徐々に改善されてきつつありますが、これらの諸施策は実質的な減員効果となって実績面に出てくるわけでありまして。

このように治安を巡る情勢、あるいは警察そのものを取り巻く環境は大変に厳しいものがありますが、こうした現実に至った原因をみると社会情勢の変化といった言葉では単純に分析し切れない、主観的・客観的要素が微妙に複合して影響しているとしか言いようがないのであります。

いろいろ申し上げましたが、もちろん警察は限りある警察力を効率的に運用して従来どおり治安の万全を期して全力を尽すことは当然であります。しかしながら、あらゆる警察活動は、市民の理解と協力を基礎として展開されるものであります。

犯罪捜査、交通、防犯等警察のどの分野を

取り上げてみても、市民の皆様のご協力がなければ成果を上げることはできません。つまりは御期待に沿い得ないのであります。そしてご理解がなければ、意欲が湧いてまいりません。

これまでも、十分にご理解、ご協力を賜っているところではあります。世界に誇る治安レベルを維持するためには、市民の一人一人が治安の重要性について更に関心を持ち、それぞれの立場で何をすればいいのかを今まで以上にお考えいただくかなければならない時代になったということでもあります。

先ほど、当署管内の署開設時と昨年の数字の比較をご紹介いたしました。発生が開設時の約60%増と申し上げましたが、その増加分の90%以上は罪名的にはいろいろありますが、いわゆる自転車、バイク泥棒であります。今は、盗まれても保険ですぐに新品の自転車が手に入るといったこともありまして、大半が無施錠のものです。

市民の方が自覚をして自転車・バイクには、住所、氏名を記入して、前・後輪に鍵をかける。外出の際、就寝の際には戸締まりをする、女性は暗い夜道の一人歩きはしないといったこと、また、企業についても防犯のための投資は利益に結び付かないという考え方を改めていただければ少なくとも数字の上では「治安に陰りが見える。」といった印象は避けられるはずであります。今のところ当署管内は、表面的には平穏に過ぎておりますが、これまで申し上げたような変化の兆しは確実に現われてきております。

先般「多摩中央セキュリティフォーラム」を開催いたしました。今後も市民の皆さんに対する情報提供の機会を作りながら、多摩中央署の署訓の「期待にこたえる多摩中央」が示すとおり、地域の皆様のご期待に沿うべくがんばって参る所存です。

今後とも、ますますのご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます、終わらせていただきます。

御静聴ありがとうございました。

## 東京多摩グリーンロータリークラブ



会長：横倉 舜三 副委員長：森田 舞子  
幹事：北村 幸彦 委員：海野 栄一・奥木 博勝・吉沢 洋景  
会報委員長：小島 周二郎 小坂 一郎・佐伯 和廣

事務局：東京都多摩市落合647  
多摩センタービル7F  
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤパンケツトルーム

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30